

平成26年1月18日（土）の「仏教女性の集い」

新しい年を迎えてご指導下さる近藤徹稱先生初め先生方、お世話をして下さる方々と新年の挨拶を交わして、今年も始まる仏教の勉強会に喜びを感じておりました。

近藤先生は「元旦や冥土の旅の一里塚めでたくもあり めでたくもなし」と、一休禅師が詠まれた歌や、「おもしろや 今年の春も 旅の空」と、芭蕉が作られた俳句を人生に例えられたお話をして下さいました。また、初春らしく「夢」の話をして下さいました。お正月の夢と言えば、「一富士二鷹三なすび」と思いがちでございました私でしたが、近藤先生は金剛経の中にある『一切有為法 夢幻泡影』について、「世の中の全てのものは存在していると思っているが瞬間、瞬間に泡のように消えてゆくもので実際に有るものではない。人間は有ると安心をし、無ければ不安になる。しかし根底的に人間は不安に出来ているもので安心はしない。不安な存在としての人間、それが有り様と、日々の生活は決して

安心ではない。と金剛経は言っている。だから今、生きて死んでいる生活が出来れば、不安を払拭して行く事が出来る。非常に難しい生き方ですが、皆さん心の何処かに考えて頂ければ、また違った生き方をして行けるのではないでしょうか」と言われました。



御法話は、法然上人御法語後篇 第28 順逆二縁 念佛往生要義抄

この章は数多くの仏教用語が挙げられており、内容としては、仏教に順縁の人も、逆縁の人もお念仏によって往生が出来るということでした。そして各センテンスの解説をして下さいました。その中で、私は輪廻（六道輪廻「地獄・餓飢・畜生・修羅・人間・天上」）それは人の心の動きによって六道を回っていると。人心は転換的に回っている。ある時は地獄、ある時は畜生と。人間・天上は4つに比べるとマシかもしれないが、人間は苦しみ、天上は五衰によって地上に落ちるかもしれない。6つの有り様は一日のうちに一時間のうちに境涯を生み出している。6つの世界を一生掛けて回るのでなく、心の動きによって絶え間なく、鬼の様相になったり、仏心を出したりする。それが輪廻であると。非常に分かりやすい説明に、私自身の境涯を改めて有りがたく思いしっかり生きて行かねばと思った次第です。（参加者感想 K. O）



お菓子はお正月の花びら餅で、縁高で出して頂きました。

初めて参加された方があり、その方は、尼僧庵の前の案内を見て来ました。女性の為に開催されている事に興味が沸きました。我が家の宗旨は、浄土宗で仏壇の前で毎日、般若心経を上げていますが、今日お話を伺い今までとは違った思いがしました。これからも参加させて頂き、仏教の事を勉強して行きたいと思っておりますとおっしゃっていました。近藤先生は「もちろん般若心経は良いですが、先程皆さんが写経をされていた『一枚起請文』は法然上人が浄土宗のエッセンスを一枚の紙に抜粋し起請をされたものですから、それを唱えて日々の糧にして下さい。何より分かりやすいでしょう。」と、法然上人が亡くなる前々日にお説きになった『一枚起請文』の説明を詳しくして下さいました。

次回の「仏教女性の集い」は平成26年2月15日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費 1,000円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩150m

『吉水尼僧庵』(旧尼僧道場跡)で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581まで

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載

<お知らせ>

近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」が今年出版されます。